



# 安管事故月報 (11月末までの状況)

(一社) 宮城県安全運転管理者協会 【令和2年12月】

## 1 交通事故の特徴

- 安管選任事業所の従業員が第1当事者となった人身交通事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は大幅に減少しました。
- 事故類型別では、追突事故が全安管事故の4割以上(255件、43.8%)を占めています。
- 発生時間帯は通勤中の午前6時～午前9時が149件(25.6%)、帰宅中の午後5時～午後8時までが157件(26.9%)となっています。
- 発生場所は交差点及びその付近で323件(55.5%)発生しましたが、そのうち追突事故は225件(43.8%)でした。
- 事故原因は安全運転義務(ハンドルブレーキ操作、前方不注意、動静不注意、安全不確認)違反が527件(90.5%)を占めました。

## 2 前年との比較

【11月末までの発生状況】

安管事業所の全事故	区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
			件数	死者	重傷	軽傷	計
	本年	582	7	7	47	662	709
前年	683	9	9	57	759	816	
増減	数	-101	-2	-2	-10	-97	-107
	率	-14.8	-22.2	-22.2	-17.5	-12.8	-13.1

【目的別発生状況】

区分	発生件数	死亡事故		負傷者			
		件数	死者	重傷	軽傷	計	
業務中の事故	本年	147	1	1	12	159	171
	前年	161	0	0	12	193	205
	増減	-14	1	1	0	-34	-34
通勤中の事故	本年	243	5	5	18	270	288
	前年	262	4	4	23	267	290
	増減	-19	1	1	-5	3	-2
業務外の事故	本年	192	1	1	17	233	250
	前年	260	5	5	22	299	321
	増減	-68	-4	-4	-5	-66	-71

## 3 県全体との比較

【県全体の事故との比較】

(令和2年11月30日現在)

区分	発生件数	死亡事故		重傷	軽傷	計
		件数	死者			
宮城県全体の事故	4,030	38	38	432	4,482	4,914
安管事業所の事故	582	7	7	47	662	709
占有割合	14.4%	18.4%	18.4%	10.9%	14.8%	14.4%

各地区会ごとの交通事故発生状況(単月)

【11月単月】

単位:人

ブロック	地区会	業務中の事故			通勤中の事故			業務外の事故			合計		
		死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷
中央	仙台中央		1	2			2			1		1	5
	仙台南						1			4			5
	仙台北						6			2			8
	仙台東			4		1	6		1	4		2	14
	泉			1		1	3			1		1	5
	若林					1				2		1	2
	塩釜						1			3			4
	黒川									1			1
沿岸	石巻						7			1			8
	気仙沼									1			1
	佐沼						1			2			3
	登米									1			1
	河北												
	南三陸												
仙北	古川			1						2			3
	遠田												
	若柳												
	築館						1						1
	大崎西												
	加美						1						1
仙南	岩沼						3			2			5
	柴田			1									1
	白石												
	角田						5			1			6
	亶理												
計		1	9		3	37		1	28		5	74	

各地区会ごとの交通事故発生状況(累月)

【1月～11月】

単位:人

ブロック	地区会	業務中の事故			通勤中の事故			業務外の事故			合計				
		死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷	死者	重傷	軽傷		
中央	仙台中央		1	19		1	13			1	23		1	2	55
	仙台南			6		1	10			2	8		1	2	24
	仙台北			5		2	13			1	13			3	31
	仙台東		3	34		3	50		1	41		7		125	
	泉			16		2	16			10		2		42	
	若林		2	31		1	20		1	23		4		74	
	塩釜		2	6			21		2	8		4		35	
	黒川		1	3		1	18		1	9		3		30	
	石巻		2	7		2	24		1	15		5		46	
沿岸	気仙沼			1	1	1	2			5	1	1		8	
	佐沼			3		2	1		1	5		3		9	
	登米			3			1			1				5	
	河北						3							3	
	南三陸			1		1	2			4		1		7	
	古川			12			7		1	16		1		35	
仙北	遠田						3		1	4		1		7	
	若柳			2						3				5	
	築館			2			4			1				7	
	大崎西						1							1	
	加美			1			7		1	3		1		11	
	岩沼	1		3	1	1	17		1	12	2	2		32	
仙南	柴田			4	1	1	9			16	1	1		29	
	白石						7	1	1	4	1	1		11	
	角田			1		1	17		1	7		3		24	
	亶理						4			2				6	
	計		1	12	159	5	18	270	1	17	233	7	47	662	

## 1月の交通事故死亡防止等のポイント

### 1 冬道の危険性

#### (1) 積雪又は凍結のため、路面は滑りやすいこと

圧雪状態の道路は、鏡のように滑りやすくなっていることが多く、冬用タイヤでも安心できません。

一見、路面が黒く単に濡れているように見え、実は凍結している**ブラックアイスバーン**と呼ばれるものは、大変滑りやすく、スピードを出して接近すると非常に危険です。(橋の上や日陰の道は慎重に!)

#### (2) 降雪などで視界が悪いこと

フロントガラスや窓に付着した雪や氷は、こまめに取り除きましょう。

※ ヘッドライトに付着した雪もふき取る必要があります。

#### (3) 交差点の見通しが悪いこと

降雪地帯では、除雪した雪が路肩等に高く積まれて路側帯、路肩等の境界線がはっきりしなくなったり、交差道路の見通しが悪くなったりしているので注意しましょう。

#### (4) 除雪した雪で道幅が狭くなること

他の車とすれ違う時には、無理をせずゆずり合いの気持ちを持って運転することが大切です。

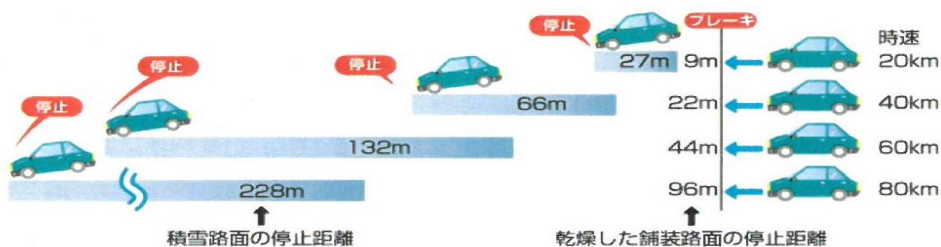
#### (5) 歩行者も寒さで周りをよく見ないで歩いていることが多いこと

歩行者や自転車の側方を通過する時は、速度を落として安全な間隔をしっかりと取りましょう。歩行者が突然滑って転倒することも考えられます。

### 2 運転時の注意

車間距離は3倍以上に

車が停止する距離は、積雪路面では、乾燥した舗装道路に比べて3倍以上になります。運転中の車間距離は、普段の3倍以上取ることが大切です。



### 2 死亡事故多発日

警察本部の分析では、1月の死亡事故多発日は30日となります。



冬道は、時間にゆとりと心にゆとりを

